

安全なワークロードクラスタの再配置

内容

[はじめに](#)

[事前チェック手順](#)

[クラシックスナップショットのアップロード](#)

[アップグレード事前チェックによるクラスタ健全性チェックの実行](#)

[クラスタシャットダウン手順](#)

[クラスタのシャットダウン](#)

[移転手続](#)

[サブネットとIPアドレスは変更されない](#)

[ケーブル配線の整合性の確保](#)

[移転後の手順](#)

[サーバの電源投入](#)

[異常なサービスの処理](#)

[結論](#)

[ベストプラクティスのまとめ](#)

はじめに

このドキュメントでは、Tetration(CSW)クラスタを再配置するベストプラクティスについて、スムーズな移行と潜在的な問題の最小化の手順を示して説明します。

事前チェック手順

クラシックスナップショットのアップロード

再配置プロセスを開始する前に、TACケースにクラシックスナップショットをアップロードする必要があります。このスナップショットは、クラスタの現在のステータスを文書化し、ハードウェアとサービスの状態を評価するのに役立ちます。スナップショットからサービスまたはハードウェアの問題が見つかった場合は、返品許可(RMA)を作成し、ハードウェアの問題とサービスを修正します。

アップグレード事前チェックによるクラスタ健全性チェックの実行

アップグレードの事前チェックでは、サービスの動作ステータスとハードウェアコンポーネントの状態を確認します。

1. Upgrade Precheckの順に移動します。
Tetration UIに移動し、次の手順に従います。

- Platformをクリックします。

- Upgrade/Reboot/Shutdownの順に選択します。
- Start Upgrade Precheckをクリックします。

出力が表示されるまで数分待ち、事前チェックをアップグレードします。すべてが成功した場合は、クラスタ再配置の次のアクションプランに進むことができます。

クラスタシャットダウン手順

クラスタのシャットダウン

Tetration(CSW)クラスタを再配置する前に、クラスタを適切にシャットダウンすることが重要です。

1. Shutdownオプションにアクセスします。
Tetration UIに移動します。

- Platformをクリックします。
- Upgrade/Reboot/Shutdownの順に移動します。
- Shutdownオプションを選択します。

2. 適切なシャットダウンの重要性クラスタを正しくシャットダウンすると、データの損失を防止し、すべてのアクティブなサービスを確実に停止するのに役立ちます。
次の図に示すように、UIを使用したクラスタのシャットダウンが完了した後、5分待つてからすべてのUCS サーバの電源をオフにし、ラック全体を新しいデータセンターに移動します。

Serial	Baremetal IP	Instance Type	Instance Index	Private IP	Public IP	Uptime	Status	Deploy Progress
WZP232007K	1.1.0.8	zookeeper	2	1.1.0.24			Stopped	100%
WZP23210Q44	1.1.0.6	enforcementPolicyStore	3	1.1.0.49			Stopped	100%
WZP23210Q44	1.1.0.6	collectoDataMover	3	1.1.0.37	10.122.168.202		Stopped	100%
WZP23210Q41	1.1.0.4	hadoopat	2	1.1.0.62			Stopped	100%
WZP23210Q44	1.1.0.6	appServer	1	1.1.0.10	10.122.168.198		Stopped	100%

移転手続

サブネットとIPアドレスは変更されない

クラスタを新しいデータセンターのラックに移動する際には、新しいデータセンターのアップリッングルータまたはアップリンクスイッチ上のサブネット、IPアドレス、およびネットワーク構成を常に同じにすることが重要です。これにより、ネットワークの問題が回避され、すべてのサー

ビスの接続が維持されます。

ファイアウォールの背後にCisco Secure Workload(Tetration)を展開する場合、これらのポートとトラフィックがファイアウォールを通過できるようにする必要があります。ファイアウォールルールを適切に設定することは、機能を中断させないために不可欠です。

出典	宛先	プロトコル	ポート	コンポーネント	方向	Priority
すべてのエージェント	Tetrationサーバサブネット	TCP	443	すべてのセンサー	Inbound	H
高度な可視性エージェント	Tetrationサーバサブネット	TCP	5640	ソフトウェアセンサー	Inbound	H
取締エージェント	Tetrationサーバサブネット	TCP	5660	適用センサー	Inbound	H
ハードウェアセンサー	Tetrationサーバサブネット	UDP	5640	ハードウェアセンサー	Inbound	H
TetrationオペレータPC/ラップトップ	Tetrationサーバサブネット	TCP	443	GUIアクセス用	Inbound	H
Tetrationサーバサブネット	SMTPサーバ	TCP	25	クラスタ管理 (電子メール)	Outbound	H
Tetrationサーバサブネット	NTPサーバ	UDP	123	クラスタ管理 (NTP)	Outbound	H
Tetrationサーバサブネット	DNSサーバ	TCP、UDP	53	クラスタ管理 (DNS)	Outbound	H
TetrationオペレータPC/ラップトップ	Tetrationサーバサブネット	TCP	22	クラスタ管理 (SSH)	Inbound	H
TetrationオペレータPC/ラップトップ	Tetrationサーバサブネット	TCP	9000	クラスタのアップグレード	Inbound	H

Tetrationオペレータ PC/ラップトップ	Tetrationサーバサブ ネット	TCP	8901- 8936	CIMCトンネル	Inbound	H
Tetrationオペレータ PC/ラップトップ	Tetrationサーバサブ ネット	TCP	8001- 8036	CIMCトンネル	Inbound	H
Tetrationサーバサブネ ット	Syslog サーバー	UDP	514	クラスタ管理 (Syslog)	Outbound	H
Tetrationサーバサブネ ット	LDAP サーバ	TCP	389/636	クラスタ管理 (LDAP)	Outbound	H

ケーブル配線の整合性の確保

再配置の間、ケーブル配線に影響が及ばないことを確認します。Tetrationラック全体を移動する場合は、すべてのケーブルが接続されていることを確認し、切断や破損が発生していないことを確認します。

移転後の手順

サーバの電源投入

新しい場所のサーバの電源を入れたら、Tetration UIにログインします。多くのTetrationサービスが異常（赤）として表示されていることに気がきます。

異常なサービスの処理

一部のサービスに問題があることが判明した場合は、Technical Assistance Center(TAC)に連絡し、これらの問題の解決についてサポートを受けてください。TACとの迅速な連携により、すべての機能を復旧できます。

異常なサービスを修正するために、TACエンジニアは一部のサービスまたはVMを再起動できます。場合によっては、TACエンジニアがTetration UIを使用してクラスタを再起動できます。

再起動を続行する前に、クラスタにハードウェア障害がないことを確認するために、クラスタアップグレードの事前確認を実行することを強くお勧めします。

Tetration UIのリポートオプションにアクセスします。

- Platformをクリックします。

- Upgrade/Reboot/Shutdownの順に移動します。
- Rebootオプションを選択します。

結論

ベストプラクティスのまとめ

Tetration(CSW)クラスタの再配置を成功させるには、事前チェック、シャットダウン手順、および再配置後の手順を慎重に計画して実行する必要があります。これらのベストプラクティスを使用することで、問題を回避し、移動後にクラスタをスムーズに実行できます。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。